

Financial Review

物流から価値を

三井倉庫グループ

2020年3月期 フィナンシャル・レビュー

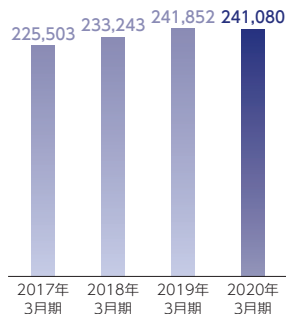
- ▶ 堅調な貨物取扱と「中期経営計画2017」でこれまで重点的に取り組んできた「抜本的事業収益力の強化」に関する各種施策が奏功し、厳しい外部環境のもとでもほぼ前期並みの利益を確保
- ▶ 株主還元については、各種施策が計画通りに進捗し、反転が完了したことから、2020年3月期の期末配当を12.5円増配し、半期配当25円を実施

営業収益

2,410億80百万円

前期比7億72百万円 ▼

(単位：百万円)

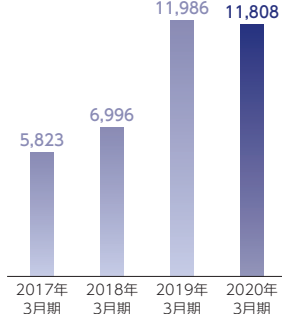


営業利益

118億8百万円

前期比1億78百万円 ▼

(単位：百万円)

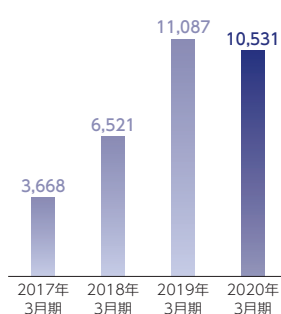


経常利益

105億31百万円

前期比5億56百万円 ▼

(単位：百万円)

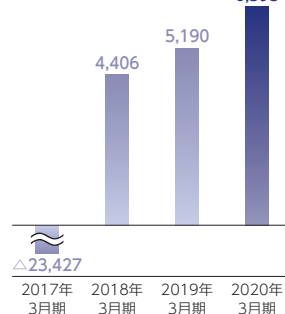


親会社株主に帰属する 当期純利益(当期純損失は△)

63億95百万円

前期比12億4百万円 ▲

(単位：百万円)



(注1) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(注2) この冊子においては、将来の見通しに関する記述が様々な表現でなされていますが、その見通しはリスクや不確実性に左右され、実際の結果と大きく異なることも考えられます。

読者の皆様には、これらの将来に関する記述に過度に依存なさらないようお願いします。